

ビジョン (取組目標)

- すべての市民が障害の有無にかかわらず、住み慣れたまちで安心して暮らすことができる地域社会の実現を図る
- スポーツを共に楽しみ、互いの違いを認め、尊重しあう共生社会の実現に寄与する

3つの取組の柱と各テーマ

01 気運醸成

障害者スポーツの
価値と魅力を伝える

「みんなが知っている大会へ」

02 開催支援

世界との絆を深め、
大会を支える

「最高のパフォーマンスを発揮できる大会へ」

03 理解促進

ろう者の文化や
障害当事者等への
理解を促進する

「未来につながる大会へ」



デフバドミントン日本代表と
府中第二中学校・府中第六中学校
バドミントン部との交流
(R5.11@白糸台体育館)

取組の方向性・概要

凡例 | 【スポ】スポーツタウン推進課
【障福】障害者福祉課

主たる担当課

01

気
運
醸
成

① 情報(魅力)の発信

イベントへのPRブース出店やSNSなど様々な広報・PRツールを活用し、大会の意義や情報、その魅力を効果的に発信していく。▶

【スポ】 秘書広報課・多様性社会推進課 他

② 大会関連イベントの実施

開催1年前の節目など、様々な機会を捉えて、デフリンピック競技の体験会など、気運醸成イベントを実施していく。▶▶▶▶

【スポ】 産業振興課・地域福祉推進課 他

③ デフアスリートとの交流

試合観戦やデフアスリートとの交流の機会を通じて、スポーツの素晴らしさや共生社会の大切さを学ぶ機会を設けていく。▶▶▶▶

【スポ】 指導室 他

④ おもてなし

関連競技の合宿を始め、世界中から集まる選手や関係者を「おもてなしの心」でお迎えし、世界との絆を深めていく。▶▶▶▶

【スポ】 観光プロモーション課・計画課・公園緑地課 他

02

開
催
支
援

① 主催団体・競技団体等との連携

東京都・全日本ろうあ連盟・日本レスリング協会等と連携して、プレ大会の開催を支援するなど、開催準備を着実に進めていく。▶▶

【スポ】 障福

② 多様な人材の参画

チームfuchuボランティアなど、多様な人材がボランティアとして活躍できる機会を設けていく。▶▶▶▶

【スポ】 協働協創推進課 他

③ 大会環境の整備支援

大会運営に必要な施設環境になるよう、東京都(東京都スポーツ文化事業団)等が行う大会環境の整備に協力していく。▶▶▶▶

【スポ】 道路課・計画課 他

03

理
解
促
進

① 当事者理解等の促進

「府中市手話の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」の周知等を通じて、ろう者の文化や当事者理解等の促進を図っていく。▶

【スポ】 文化生涯学習課・地域福祉推進課・指導室 他

② 手話の理解の促進・普及

市民や事業者(市職員を含む)を対象とした手話体験講座を実施するなど、手話通訳者の養成等に努めていく。▶▶▶▶

【スポ】 職員課・地域福祉推進課 他

③ 意思疎通手段の利用の促進

デジタル技術等を活用した情報保障の充実を図り、さまざまな意思疎通手段を選択できる環境整備に努めていく。▶▶▶▶

【スポ】 障福

④ 手話ボランティアの養成

手話通訳者や手話サークルと協働し、あらゆる人が参画・協働した大会運営を目指していく。▶▶▶

【スポ】 障福